学校番号	２１８

令和５年度　芸術（書道）科

教科	芸術	科目	書道Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	書Ⅲ（光村図書）						
副教材等	自主教材プリント						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・用具用材を効果的に用いながら、表現の幅を広げ、自分らしい文字を書くことを目指します。
・一つの作品にじっくりと取り組むことによって、完成度の高い作品を仕上げていきます。
・身近に飾れる作品を作ることで達成感を味わい、書を愛好する心情を育てます。

2　学習の到達目標

書道の創造的な諸活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし、書の伝統と文化について尊重する態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:書への関心・意欲・態度	b:書表現の構想と工夫	c:創造的な書表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。	書表現の諸要素を感受し、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	創造的な書表現をするために、書の効果的な表現の技能を身に付け表している。	文字や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	観察 提出プリント 提出作品	観察 提出プリント 提出作品	観察 提出作品	観察 提出プリント 提出作品

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	漢字の書	・書体の変遷 ・古典臨書 　半紙から画仙紙へ	○	○	○	○	a: 各書体の造形美とその表現技法に関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。 b:各書体の用筆法を理解し、表現を工夫している。 c:用筆法、作品としての章法を身に付け表している。 d:文字の成り立ちに興味を持ち、代表的な古典を知り、そのよさや美しさを味わっている。	観察 提出プリント 提出作品
		・創作 　合作	○	○	○	○	a:文字の選定、構想、完成に至る創作活動について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている b:作品の意図を明確にし、表現を工夫している。 c:作品の意図を明確にするための表現の技能を身に付け表している。 d:互いの作品を鑑賞し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。	観察 提出プリント 提出作品
2学期	漢字の書	生活の中の書・刻字 　原稿 　運刀 　彩色	○	○	○	○	a:刻字ならではの表現とその美しさについて理解しようとしている。 b:刻字の手順に従い、刻し方や彩色など、刻字の特徴を生かした表現を工夫している。 c:文字と背景デザインを効果的に表現している。用具用材の扱いや手順を理解し、身につけている。 d:互いの作品を鑑賞し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。	観察 提出作品

2学期	漢字仮名交じりの書	テーマ別制作 書風 漢字とことば 模様とことば	○	○	○	○	a:文字の配置や全体の構成に関心を持ち、個性的、創造的な表現力を高めようとしている。 b:ことばを効果的に表現する全体の構成を考え、創造的な表現を工夫している。 c:ことばを効果的に表現する全体の構成を考え、創造的な表現を工夫することができる。 d:作品から感じたことを伝え、補完しあいながら、理解を深めていくことができる。	観察 提出プリント 提出作品
3学期	漢字仮名交じりの書	表具	○		○	○	a:表具で用いる道具や紙の性質に関心を持ち、意欲的に取り組もうとしている。 c: 表具で用いる道具の扱いや手順を理解し、紙の性質を生かして作業、美しく完成させることができる。 d: 表具することによって、作品としての表現に効果があがることを理解し、そのよさや美しさを味わっている。	観察 提出作品
		卒業制作	○	○	○	○	a::思いとことばと書の関係に関心を持ちながら、協力して取り組もうとしている。 b:ことばを効果的に表現する全体の構成を出し合い、創造的な表現を工夫している。 c:全体の中で調和を保ちながら、ことばの効果的な表現を工夫することができる。 d:作品から感じたことを伝え、補完しあいながら、理解と鑑賞を深めていくことができる。	観察 提出プリント 提出作品

※　表中の観点について　a:書への関心・意欲・態度　　b:書表現の構想と工夫
　　c:創造的な書表現の技能　　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。